科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：アート＆ファッション ILAS Seminar :Art & Fashion			担当者所属 職名・氏名	防災研究所　特定教授 土佐　尚子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	20 (15) 人	配当学年	主として１回生	対象学生	全学向
曜時限	木5	教室	坂記念館			使用言語	日本語
キーワード	デジタルアート / ファッション / デジタル捺染 / 音の可視化 / ハイスピードカメラ						

[授業の概要・目的]

現在の防災服は、かっこよさは求められていない。
また、現在のファッションも防災的機能は意識されていない。
早朝に地震が起こった時、そのままの服で逃げれたら？
普段の服が防災服になれば、外に出る時に、もっと時間が短縮され、助かる命が増えるかもしれない。

自分の心音を録音し、その音をハイスピードカメラで可視化し、その一コマを使って、
デジタル捺染で防災に有効な服を考えて、デザインする。

その体験から、音、映像、服がデジタルで繋がることから
デジタルとアートとファッションの関係を学ぶ。

[到達目標]

服にデジタル技術と防災機能を取り込み、社会や産業にインパクトをもたらす創造的（アートな）な価値を作り出すこと。

[授業計画と内容]

授業回数はフィードバックを含め全15回とする。

以下の要素について研究をしながら、作品を仕上げていく。

1グループで防災対応できるファッションを考えて企画する

2 録音した音を、スピーカーで再生し、ハイスピードカメラで動画撮影する

3 上記で撮影した動画からクリエイティブな１コマを選ぶ

4 上記から選んだ一コマを防災をテーマにしたファッションのデジタルパターンに入れてファッションデザインをする

5 上記を特殊な紙で印刷し、生地にデジタル捺染する

6　上記の生地をミシンで裁縫する

7 映像のデジタル編集を学び作品化

8 講評

ILASセミナー ：アート＆ファッション(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：アート＆ファッション(2)

[履修要件]

映像制作とアートに興味があり、コンピュータの基本操作ができること。
ミシンが扱えればなお良い

[成績評価の方法・観点]

レポート、作品制作、平常点の合計で評価を行う。詳細は授業中に説明する。

[教科書]

土佐尚子 『TOSA RIMPA』（淡交社）

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

（関連ＵＲＬ）

https://tosa.dpri.kyoto-u.ac.jp/fashion-week-brooklyn/

[授業外学修（予習・復習）等]

参考になる映像や展覧会を見る。

[その他（オフィスアワー等）]

・オフィスアワー：午後６時～７時

・色彩の区別を伴う課題に各自取り組んでいただきます。

[主要授業科目（学部・学科名）]